

婦人科癌の腔内照射に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター放射線治療科では、「婦人科癌用新規小線源治療システムの導入による臨床的影響に関する研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、婦人科癌（子宮頸癌、子宮体癌など）の患者さんの放射線治療の治療内容および結果を調べて、使用機器がどのような臨床的影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2016年4月1日より2026年3月31日までに治療した方の診療録、血液・画像検査データ、放射線治療内容の調査を行います。対象となるのは当院で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（診断名、ステージ、放射線治療時に利用した情報等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年8月

研究責任者

東京医療センター 放射線治療科

金田 朋也

連絡先 03-3411-0111(代表)